

地球の魔法使いの7日間上級トレーニングセミナー

チステルニーノ (イタリア)

シンクロトロン

講師：ヴァルム・ヴォタン

原文：<https://www.13lunas.net/seminarios/cisternino/index.html>

(注) 資料画像は推定して追加してあります。

3日目 428 571

NS. 1. 22. 2. 17 Kin 48

黄色い太陽の星

月サソリの月ガンマ 17日

フラール 144

TFI 681, BMU 240, KE 161

電気テレパシー通信の要素、構造とガイドライン。「芸術の力」のパルサー

ボン・ジョルノ、おはようございます。皆さん楽しい時間を過ごしていますか？

地球家族の大切さを皆さんに理解してもらいたいと思っています。午前中ここに来るのは簡単です、なぜなら皆さんは私がこれから何を言おうとしているのか知りたいし、セミナーを欠席したくないからです。しかし、本当の試練は地球家族で取り組む「ボランティア活動」にあります。なぜなら、この7日間セミナーの後に、それぞれが自分の道が続けるからです。そして、提示され、教えられているすべてのことの本当のポイントは、聞いていることを維持し続けることができるかどうかなのです。

最も重要な点を強調すると、私たちが集合意識の統合という集団的状态を達成できるかどうかを確認しているところだということです。

それぞれの地球家族とその役割は、私たちが意識の統合を果たせるかどうかを確認する機会になるということです。家族が何をすべきか分からない場合は、ただ静かに瞑想して、一つになった意識の状態になれるかどうかを確認する必要があるかもしれません。とにかくできます。ナチュラル・マインド瞑想で地球家族の集まりを始めましょう。

禅の伝統では、「師はトイレが何かを教えることはできるが、代わりにトイレに行く

ことはできない」と教えます。私たちはブレンダーナーマを行うことができます。それは宇宙のサイクルを体験する意味を持つことが分かります。また、絶対的な精神的明晰さを体験することでもあります。準備運動として非常に優れたものと言えます。

それぞれ4つ数える間、吸う・止める・吐く・止める呼吸のエクササイズを今日はまず4回行います。それから、今度は片方ずつの鼻孔を覆って同じ呼吸のエクササイズを右左で3セット行います。まず左の鼻孔を覆って吸う・止める・吐く・止める、次に右の鼻孔を覆って吸う・止める・吐く・止める。これを1セットとして3セットです。

次に、ルートチャクラである HRAM（フラム）から始めて、他のチャクラ（HRIM（フリーム）、HRUM（フルーム）、HRAIM（フライーム）、HRAUM（フラウーム）、HRAHA（フラーハ）、OM（オーム））と続けてマントラを唱えます。そして今日は（訳注：週の3日目の）第三の目の日なので（ガンマプラズマに相当する）HRAHA（フラーハ）を3回唱えます。

今日はもちろん、キン 48 黄色い太陽の星です。ヘプタッド7でコドン 48（訳注：源泉への到達）です。今日、最初の三角形、つまり熱、光、光-熱の感覚量子が完成しました。そしてコドンの下の三つ組は「呼吸（訳注：巽・風）」のコドンです。伝統的な易経では、このコドンは「井（水風井）」として知られています。

そこで今日は井戸を掃除して、井戸が利用できることをみんなに知らせたいと思います。シンクロトンの教えは井戸を表現しており、これらの教えはここにいるすべての人が利用できます。従って、ロープが十分な長さであること、ドリルの刃がきれいで亀裂がないことを確認してください。ロープはあなたの忍耐力と持久力を表し、ドリルの刃はあなたの心を表します。あなたが受け取っている純粋な教えだけが心に入れていることを確認してください。他のもので汚染しようとしなくてください。自分が知っているかもしれないことを混ぜることなく、できるだけ純粋な内容を保つよう努めてください。

今日はエステラ（スペイン語で星）の日なので、シリウスのメソッドと関係がある『知識の本』が読めたらと思います。シリウスの普遍的なメソッドは、私たちの意識の管理に向けてシリウス星評議会から来る提案と関係しています。私たちが開いている意識は多次元的であり、一種の天上の階層（ヒエラルキー）によって組織されています。時々、「ヒエラルキー」という言葉を聞いて非民主的だと考える人がいますが、それは全く関係ありません。それらは「民主主義への恐怖」です。私たちが天上の階層について話すとき、他の宇宙とつながる可能性を促進する高次意識の組織システムについて話しています。これが私たちが話している意味です。

シンクロトロン・システムはシリウス星評議会からの直接情報であることがすぐに特定されました。実際、時間の法則やドリームスペルの情報全体はシリウスからの伝達です。大銀河太陽周期の52年周期、73 ツォルキン周期は、シリウス B 星の周期と

一致しています。7月26日は、空にシリウス星系が出現する日に一致します。私たちが52年周期を完了すると、シリウスB周期も完了するのです。52週と52年のフラクタルにより、私たちの意識もシリウスBに同調します。シリウスBとシリウス星評議会が銀河を調整しているのです。

私たちがいる星系、ヴェラトローパ24.3は、シリウス星評議会によって管理されています。その政府では、アルクトゥルスが七賢者の教えを管理する責任を負っています。この7という割合は、社会秩序における人間の人格の調和のとれた秩序を監督するという役割を担っています。とはいえ、これらすべてはシリウス星評議会の優れた管理と調整の下にあります。

「シリウスの情報をより深く理解するための19のポイント」を読んで、それを一つずつ説明していきます。

1. シリウスは二重宇宙の星です。紋章は双頭の鷲。
2. 第二宇宙のシリウス焦点は「グレート・ホワイト・ブライト」とも呼ばれます。これは、そのエネルギーを第一宇宙の大シリウス、つまり第一宇宙の大いなる明るさ（グレート・ブライト）へと投影します。
3. 第一宇宙の大シリウスは、太陽より少なくとも9倍強力なエネルギーを持っており、グレート・ブライトとも呼ばれます。
4. 第一宇宙のシリウスは、シリウス焦点のすべての力を集めて第二宇宙に投影します。
5. 小シリウスは第二のシリウスとも呼ばれます。大シリウスを周回する公転周期は52年です。

(注)

質問：一般には、小シリウスの公転周期は50年と計算されていますが、実際は52年か50年のどちらなのでしょう？

答え：一般の計算である50年の公転周期には、黄道帯における動きのずれの期間が含まれていません。

6. 小シリウスの使命は、大シリウスのエネルギーを分割して9つの星座に分配することです。
7. 各星座には7つの星があります。これらが大シリウス、つまりグレート・ブライト・シリウス、そして第二シリウス、つまり小シリウスと合わせると9になります。
8. 第3シリウスまたはイロナ星座は、天の川銀河を司っています。最初の9つは神の秩序を投影するものです。
9. イロナ星座、つまり第3シリウスは、シリウスの第一次元との関係で第二宇宙に最も近い星座です。主のチャンネルに最も近い周波数を受信することから、あなたの惑星は特別なシステムに依存しています。
10. イロナ星座全体は、第3のシリウスとも呼ばれます。これらの星は前後に並んでいるために、あなたの惑星からは観測できません。それらの周期は同じ平面にあります。他の星座も同じです。あなたの惑星から送られたサテライト衛星だけが、

それらを後方から発見することができます。

11. 大シリウス、小シリウス、第3シリウスは、第二宇宙の神聖な秩序を投影する三角形の焦点です。
12. イロナ・オス星座の焦点に関する情報は、最高議会の4つのチャンネルを通じてあなたに投影されます。
13. 各星座には、設立法、管理機構、最高会議、中央システムがあります。
14. 上記の9つの星座は、ただ一人の秩序確立者の指揮下にあります。
15. 各星座が属する次元に与える進化の順序は異なりますが、焦点は同じです。
16. あなたの惑星に属する進化エネルギーは、あなたが属する最初の9つの星座によって与えられます。
17. システムの直接的な三重焦点はマリク・コードです。
18. 図として描かせた焦点の全体が、宇宙全体の秩序を構成しています。それは9の数字です。これは、第二宇宙から第一宇宙への焦点です。これはイロナ星座で、私たちのシステムはここにありますが（何かを描画したり、イメージを表示したりしています）。
19. このすべての運用上の規則は、中心の上の中心とつながっていますが、最も強力な焦点はイロナ焦点です。なぜなら、それが神の次元に最も近い唯一の焦点であり、その運用上の規則を他のシステムに投影し、あなたにとって最も近いエネルギー源だからです。このため、神の秩序は最も正確かつ直接的な方法であなたの惑星に投影されます。

これは参考のために提示されています。

センター

(訳注 英文は<https://lawoftime.org/lawoftime/synchrotron-appendix-19-points-on-sirius.html>)

もちろん、これは誰も完全には理解しえない記述ですが、特にシリウス焦点図との関連で研究すべきものです。最近、倫理ニューズレターが発行されていないことに気付いている方がいるかもしれません。7日間セミナーの終わりには、銀河リサーチ研究所の銀河間紀要となる新しいニューズレターが発行されます。このセミナーで発表し始めた情報を引き続き紹介していきます。それらには、私たちが読んだだけのものも含まれます。昨日読んだ声明。シンクロトロンシステムに関する情報。きっと電気
の月には、あなたは最初の銀河間通信を受け取るでしょう。この情報は、シンクロトロン
の教えを明確にする目的で提供されます。

いわゆる両極をつなぐ虹の橋の活性化と、統一された集合的テレパシー精神フィールドの創造もあります。

ここでは、ポイント 12 を参照してみます。:イロナ・オス星座の焦点に関する情報は、最高議会の4つのチャンネルを通じてあなたに投影されます。

昨日、私たちは4つのハイパープラズマ、アルファ-アルファ、アルファ-ベータ、ベータ-ベータ、ベータ-アルファまたはベータノヴァを紹介しました。これらは最高議

会の4つのチャンネルによって管理される4つのハイパープラズマです。これらのチャンネルのポイントは、ベース・マトリックス 441 で見つけることができます。

座標：V = 垂直 - H = 水平

アルファ-アルファ：V6 H6

アルファ-ベータ：V6 H16

ベータ-ベータ：V16 H16

ベータ-アルファ：V16 H6

これは、441 マトリックスに導入された際の最高会議の4つのチャンネルの位置です。それらの間には対称性があることが分かります。明日、ベース・マトリックスでの対応する数値を教えてください。

私たちが右側と呼ぶものはアルファ側であり、脳の右側を指します。そしてベータ側は脳の左側に相当します。従って、4つのチャンネルは私たちの脳のエーテル系にあります。また、ハイパープラズマがヘプタッドの最初の4つのゲートで活性化されることも分かっています。

アルファ-アルファはゲート 108 でアクティブになります。

アルファ-ベータはゲート 291 に、

ゲート 144 のベータ-ベータ、

そして最後に、ゲート 315 のベータ-アルファです。

例えば、今日はセミナーの（訳注：＝週の）3日目であり、ベータ-ベータであることが分かります。その下には 144 と書かれており、さらにその下には V11 H20 と書かれていることが分かります。これは、縦列 11、横行 20 の位置を指します。ベース・マトリックスで確認できます。

このマトリックスを見るときは、上側が後頭部であることに注意してください。私たちの頭蓋骨の基底（訳注：BMU108）は上から2番目の横行にあると言えます。そして、144 は下から2番目の横行にあり、第三の目です。

今日、私たちは第三の目にいます。今日は3日目です。今日開くのはヘプタッド・ゲート 3 で、第三の目のチャクラに対応します。それは第三の目のチャクラに対応するプラズマのガンマでもあります。従って、今日私たちが意識を向けるチャクラは第三の目です。（訳注：当日のキンの黄色い星の紋章の信号の地球家族に対応する）クシヤン・スウムまたは太陽神経叢のチャクラもまた意識します。

毎日少なくとも2つのチャクラが強調されます。ヘプタッド・ゲートのシンボルとその日のキンが属する紋章の地球家族に基づく対応です。例えば明日、私たちは赤い月に対応するルートチャクラにいますが、フリームは丹田または第2チャクラに関連付

けられます。つまり、ルートチャクラと第2チャクラの二つが強調されるのです。

いわゆる7つの前提条件についても触れました。私たちは毎日これらの前提条件の1つを検討しているのですが、昨日はそれを行うのを忘れていました。鏡の前でそのことを思い出したのは強烈な瞬間でした（笑）。そして、「今日、修正したほうがいい」と思いました。ということで最初の3つの条件を確認してから、3番目の条件に焦点を当てましょう。

第1前提：我々は惑星である。私たちのマインドは惑星マインドだ。唯一無二の全体としての集会的統合は、地球の救いであり、銀河意識における復活である。これはヌースフィアとしても知られている。

これが最初の前提条件です。私たちはすべての前提を銀河間通信で提示するので、ヘプタッドの各ゲートを開くときにそれぞれの前提条件を読むことができます。

第2前提：惑星意識全体は、他の6つの銀河またはノヴァ システム7を含むシステム内で並行して動作している。私たちは、連邦銀河間宇宙議会 (AFIC) によって調整された管理ゾーン内の組織である。

これは重要な箇所です。なぜなら、昨日読んだように、メヴラーナもまた、私たちの惑星で起こっていることは、それが起こっている唯一の場所ではないということに言及しているからです。だからこそ、ここで起こっていることはパラレルな出来事なのです。それはどのように？あるいは、なぜそうなるのか？と尋ねる人もいます。

なぜなら、メヴラーナの手紙でも強調されているように、私たちは完全かつ全体的な宇宙の変化あるいは調整を経験しているからです。各レベル、各システム、各次元、各宇宙、各星、各銀河で、それぞれの調整が発生します。私たちが属する7つの銀河系の中で他の6つの惑星と連携して行っている調整は、孤立した存在の意識から集団テレパシーの意識へと移行するための調整になります。これが、私たちが集合意識への移行という点を非常に強調する理由です。

まず「旅を諦めるわけにはいかない」という抵抗を感じるようです。もう一つのレベルの抵抗は「本当にそんなことがあり得るのか？」ということです。これらは単なる抵抗感にすぎません。これらの抵抗感を克服するとき、つまり降伏するとき：(降伏は抵抗を克服するための最初のレベルです)、「降参、降参、受け取るよりも与えることが大切です。愛されるよりも愛することが大事です。降参します。」となります。その点に到達すると、次の抵抗にぶつかります。それは、「これは本当にそうなの？... 私たちは6つの並列システムと一緒にテレパシー意識の集会的統合に向かうの？それって本当なの？」。

そして私たちはこのレベル、つまり疑いと疑問のレベルを放棄しなければなりません。

私たちが真に身を委ねて愛することを選ぶとき、これらすべてに真に身を委ねるとき、それはより容易くなります。そして、私たちは実際には宇宙全体に広がる普遍的な愛のテレパシー波であり、それらはあらゆる場所の他のレベルでも同時に発生していることに気づきます。

一度すべてに屈服すると、そこが自分の向かうべき場所であることが分かり、その波に乗るのはとても簡単になります。それをやめること、それがどのように起こっているかを感じるのは簡単なことです。なぜなら、あなたはそれをしておらず、それがあなたにそうしている、それがあなたを運んでいくものと、あなたが何もしていないから。しかし、あなたはその完全な降伏と放棄をしなければなりません。そして、「それがあなたを導いている」と気づくところに達すると、「誰がそんなことを言ったのか？」と自問します。そしてあなたは、あなたに話しかけている、あるいは通信しているのは別の誰かであることに気づくのです。それはシリウス星評議会でしょうか？私はテレパシーでコンタクトされているのでしょうか？...ここがポイントなのですが、やっているふりをするのではなく、本当に降伏する必要があるのです。ふりをしているだけで、自分の声だけを聞いているのなら、それはとても退屈なことです。「自分自身」ほどつまらないものはありません。彼はいつも同じことを繰り返すので、とても退屈なのです。

第3前提: この現実の銀河間サブ秩序におけるコミュニケーションの一般的統合媒体はテレパシーである。テレパシーのシステムは、集合的に送信され理解される数学言語によって調整される。数学言語は、シンクロトロン¹の部材の相互作用を通じて力と理解を達成する:一なるものの法則のホイール 13:7/13:20 と立方体マトリックスシステム 212-441- 1.3.3.1

シンクロホイールの移動順序が、異なる意味の配置を確立する7の絶え間なく変化するパターンあるいは周波数のモザイクとして441マトリックスを活性化する。共通の動くヘプタッド秩序として活性化が集団的に行われると、銀河の順序が意識的に体験され、テレパシーによる統合のフィールドが確立される。

そして、これは大きなショックです。これが3番目の前提条件でした。全員に理解してもらいたいと思っています。彼の言うことはすべて非常に明確であり、学ぶ必要があるものですが、とても論理的です。三重秩序の機能は知的で論理的な意識です。すべては宇宙秩序の論理の現れです。

従って、私たちに見えている論理のさまざまなステップを理解し組み立てることのできる知性や能力を活用することが重要です。そして、これは私たちの意識を維持する能力に依存します。覚醒状態を持続しなければなりません、そうでなければ成功しません。だからこそ私たちはナチュラル・マインド瞑想を非常に重視しているのです。それによって最低限の継続意識を確立することができるからです。そして私たちは、私たちに伝えられている高次宇宙秩序の論理を理解し始め、この論理を理解するために私たちの知性を使うことができるのです。そうして私たちは自分自身の中に接触の

場や意味を作り出します。

実際のところ、私たちは進化の過程で、精神的に怠惰になるのをやめるように求められています。私たちはマインドから超マインドへ、意識から超意識へ移行しているということです。そしてこの過程で、私たちは超メンタルな場所に起源を持つ超メンタルな情報を受け取っているのです。これが進化の基本的なポイントです。

進化がどのように働いているかを見ると、常にマインドがますます進化する状態になるよう進んでいきます。私たちが「スピリット」と呼ぶものは、マインドを推進する力であり、常により多くの意識、より大きくより良い意識組織のシステムの方角に向かう力のことです。

ということで、私たちが話しているのは、単にレイブパーティーに行くというようなことではありません。私たちは論理と意味づけの次元上昇について話しているのです。

さて、今日の前提条件についてお話ししました。意味を統一するシステムはテレパシーです。テレパシーのシステムは、集合的に送信され理解される数学言語によって調整されています。

この7日間セミナーでは、441、ホイール、シンクロトロンが集合的に送信されます。一步一步、少しずつ、集合的に理解されつつあります。これが注意し、意識し続けておくべき重要なポイントです。

ここまでにしましょう。どこまで進んだか正確に覚えていきましょう。OK？
良いですね。では休憩の後で。

さて、始めましょう。

私たちは第3前提と、集合的に伝達され理解される数学言語について話していました。私たちがこの数学言語について話すとき、2つのシンクロトロンの部品の相互作用を通じてその力と意味を実現する数学言語について特に注目します。これら2つの部品は、まずフナブ・クの動きである「一の輪」13:20と13:7であり、もう1つはフナブ・クの尺度である21の二乗、441、1.3.3.1のマトリックス・キューブです。

シンクロホイールの移動順序に従って、441マトリックスが7の進行順で活性化されます。そして、この7の進行は、異なる意味の配置を確立する周波数の変化するパターンまたはモザイクです。

つまり、変化する7のパターンの進行について話しているのです。ヘプタッドの7つのゲートについて話しました。ヘプタッドの7つのゲートは一定で変わることがありません。

1. 玉座への最初のゲートは常にベースマトリックス単位 (BMU) 108 です。
2. アバターの 2 番目のゲートは常に BMU291 です。
3. ヘプタッドの第 3 のゲート、神秘のゲートは常に BMU144 です。
4. イニシエーションの 4 番目のゲートは BMU315 です。
5. 時空の 5 番目のゲートは BMU414 です。
6. 超越の 6 番目のゲートには BMU402 があります。
7. そして 7 番目のゲートは立方体で BMU441 です。

昨日、私たちは 144、414、441 について話しました。これらは、ヘプタッドゲートのうちの 3 つ、第 3、第 5、および第 7 ヘプタッドゲートです。もう一つ興味深いのは、各桁の数字の合計が 9 で、それを合計すると 27 になるということです。そして、3 つの数値を合わせると 999 になります。3 の三乗は 27 です。414 と 114 の差は 270、つまり 27 の 10 倍です。そして 441 と 414 の差は 27 です。それから 441 と 144 の差は 297 で、これは 27 の 11 倍です。27 は重要なキーナンバーです。3 の三乗ですね。27 とその組換え可能因子です。

今度は 117、171、711 を見てみましょう。

171 と 117 の差は 54、つまり 27×2

711 と 171 の間は 540、つまり 27×20

711 と 117 の間は 594、つまり 27×22

これは三つ組数と呼ばれます。そしてこれ（三つ組を指して）はフナブ・クの尺度の三つ組数であり、これはフナブ・クの動きの三つ組数です。

しかし、私たちは 7 つのヘプタッド・ゲートについて話しているところで、それらを 7 の序列として参照していました。それは 7 日単位で、一年に 52 回発生する順列です。つまり、7 日ごとに、頭蓋骨の基底部、後頭蓋骨、第三の目、生え際、前頭中央、後頭中央、頭頂部の順番に意識していくこととなります。

これを年に 52 回行い、これらのポイントを連続的に開いていくこととなります。これらのすべてのポイントが脳梁内の小さなマイクロチップの周りを回転しているように視覚化することができます。あるいは、脳梁の小さなマイクロチップから投影されたこれらすべてのポイントを見ることができます。

私たちが学ばなければならないのは、441 マトリックスをマイクロチップのように脳梁に投影することです。私たちが行っていることは、マイクロチップの形でテレパシー数学言語システムを脳梁にテレパシー的に刻み込むことです。青い共振の嵐の年の律動の月 9 日の青い水晶の手（訳注：マヤの大周期の閉じ目 2012 年冬至）に到達したとき、私たちがこれらすべてを記憶し、テレパシーで脳梁に刻み込んでいるように。

これと同じプログラムがサイバンクにテレパシーで登録されています。なぜなら、シンクロトロンは実際には生きたシステムであるためです。つまり、私たちが実践を

始めると、さまざまな高等知性体によって送信されるテレパシー波と結びつくこととなります。そして、これらの波の目的は、集合的に送信され理解される数学言語を通じて、地球の集合的な精神フィールドを活性化することにあります。

これが7の進行です。（訳注：7つのヘプタッド・ゲートに対応する）ハイパープラズマ、BMU 番号、ハーモニック・コドンなど、7の固定的なパターン。それから、毎日のキンの継続的な動きと、13の月の暦の日付に基づく可変パターンがあります。これにより、マトリックス上にパターンの変化が生まれます。

















































これで、私たちが議論したい次のトピック、フナブ・ク21に移ることができます。それは、やはりマトリックスへと日々の秩序を目盛っていきます。これは「集合的に伝達され、理解される数学言語」が意味するものであり、7の進行によって発生し、異なる意味の配置を確立する周波数の変化するパターンまたはモザイクを作り出します。これらの活性化が集合的に行われると、ヘプタッドの順序で示されるように、宇宙意識のさまざまな進行がテレパシー的に体験されます。

今週はコドン48で、今日のキンはKin48、これはシンクロシティ、つまり同期ポイントです。では、これは何を意味するのでしょうか？数字のより深いレベルに進む必要があります。例えば、48とは何でしょうか。48が12番目の調波を完成させるのは興味深いことです。これは、48が4の12倍であることを意味します。それは6の倍数でもあり、 6×8 です。非常にファッショナブルな用語で表現すれば、オクターブ・ヘキサメリドです。「オクターブ・ヘキサメリド」とは6オクターブの音域を意味します。これは人間の可聴範囲と大きく関係しています。これは、最低音から最高音まで、人間の耳に聞こえる音の範囲を定義します。

これは私たちに聞こえる音のハーモニック全体を構成しているため興味深いです。これが、441マトリックスとホロマインド・パーシーバーに、第二の創造の6オクターブを構成する48個の新しいウル・ハーモニック・ルーンがある理由です。これはコズミック・ヒストリー・クロニクルの第5巻にも収録されています。

これが最初の進行です。これは、第二の創造のウル・ハーモニック・ルーンの並びと呼ばれるもので、65番目から72番目まであります。最初の並びは「神の命令」と呼ばれます。2番目の並びは「宇宙の火の木」。これら2つの進行は、第二の創造の時空間を定義します。3番目と4番目の並びは中心に直接到達します。3番目は「銀河生命の全体性」の進行であり、4番目は「銀河芸術の全体性」の進行です。

ヘプタッド・ゲートの進行では、「銀河生命の全体性」の並びの3つのルーンと「銀河芸術の全体性」の3つのルーンが活性化されます。

OCTAVE 1 STRAND 9	OCTAVE 2 STRAND 10	OCTAVE 3 STRAND 11	OCTAVE 4 STRAND 12	OCTAVE 5 STRAND 13	OCTAVE 6 STRAND 14
65  Octave of Divine Decree "BE!"	73  Command of Cosmic Creation Realized as Tree of Cosmic Fire	81  Radiogenesis Establishes Galactic Life Whole	89  Morphogenesis Establishes Galactic Art Whole	97  Union of Ascent and Descent	105  Octave of Infinite Mind Wave
66  Divine Decree Establishes Time of Second Creation	74  Tree of Fire Defined by Ring of Time	82  Galactic Life Whole Evolved as Time	90  Galactic Art Whole Defined by Time	98  Time Equalized by Union of Ascent and Descent	106  Infinite Mind Wave Floats in Time
67  Divine Decree Establishes Space of Second Creation	75  Tree of Fire Extends to Four Quarters of Space	83  Galactic Life Whole Extends into Space	91  Galactic Art Whole Defines Space	99  Space Perfected by Union of Ascent and Descent	107  Infinite Mind Wave Illumines Space
68  Divine Decree Establishes Firmament of Second Creation	76  Command of Cosmic Creation Enlightens Firmament	84  Galactic Life Whole Becomes Medium of Transmission	92  Galactic Art Whole Becomes Structure of Reality	100  Union of Ascent and Descent Established as Cosmic Space	108  Infinite Mind Wave Becomes Waking Consciousness
69  Firmament Divides Time	77  Firmament Defines Movement of Time as Day-Night	85  Galactic Life Whole Channels Time	93  Structure of Reality Evolved by Time	101  System of Command Actualized in Time	109  Waking Consciousness Identified as Time
70  Firmament Divides Space	78  Day-and-Night Defines Cosmic Space	86  Galactic Life Whole Channels Space	94  Structure of Reality Becomes Architecture of Space	102  System of Commands Evolves Cosmic Space	110  Waking Consciousness Discriminates Space
71  Divine Decree Unifies Timespace	79  Tree of Cosmic Fire Generates Planet Mind	87  Timespace Unifies Galactic Life Whole	95  Galactic Art Whole Becomes Meditation of Reality	103  Channel of Command Becomes Self-evolving	111  Infinite Mind Wave Reflects Infinity
72  Timespace Establishes Cosmos as One Universal Mind	80  Tree of Cosmic Fire Returns to Source as Star Mind	88  Galactic Life Whole Realized as Cosmic Consciousness	96  Galactic Art Whole Gives Form to Cosmic Consciousness	104  Channel of Commands Creates Cosmic Order	112  Infinite Mind Wave Evolves Infinity

例えば、今日の BMU144 では、「銀河芸術がひとつの塊として空間を定義する」という 91 番目のハーモニック・ウル・ルーンを活性化します。91 もとても興味深い数字です。今日はキーナンバーの三つ組数の 1 つである 144 です。そしてそれはハーモニック・ウル 91 です。91 は 7 の 13 倍で、13.7 のホイールを扱っているため、これは重要な数字の一つであり、 $13 \times 7 = 91$ です。同様に、91 は 13 の三角数です。従って、これは重要なキーナンバーです。144 と 91 の組み合わせは、非常に強力な周波数と考えられています。これらは私たちが調和するように努めなければならない類のものです。なぜならそこにいわゆる「意味の配置」があるからです。例えば、「数値の三角数の表」を用意するとよいでしょう。6 の三角数 = 21、7 の三角数 = 28 などなど。

興味深いのは、12 の三角数が 6 の 13 倍である 78 であることです。10 の三角数 = 55、11 の三角数 = 66 になります。

(訳注：三角数とは点を正三角形の形に並べていった時の点の総数。n の三角数は 1 から n までの自然数の和に等しい。例：7 の三角数 = $1+2+3+4+5+6+7=28$)

ということで、私たちが普段扱っている基本的な数字の二乗、三乗、三角数を知って

おくと良いでしょう。例えば、21 という数の場合、その二乗は 441、三角数は 231、三乗は 1961（訳注：9261 の誤り？）です。これは、数字の理解の始め方を示しているだけです。ピタゴラスやその他の人々は、数字が生きた実体であることを知っていました。「神は幾何学化する。神は数字で考える。」

先ほどの 2 つのルーン進行に続き、5 番目の並びは「上昇と降下の結合」です。そして最後は「無限のマインドの波動」。これが数字 48 の意味を説明する方法の一例です。48 は、人が聴くことのできるオクターブの範囲を指す 48 ウル・ハーモニック・ルーンにつながります。

48 という数字のもう一つのとても興味深い点は、それが太陽の星だということです。48 として太陽の周波数をパルスするのは星です。また、48 はコドン 48 を指します。「源泉への到達」という名前です。そして、コドン 48 は「時間の法則の 20 の銘板」の 16 年間の最後のコドン配置です。言い換えれば、コドン 48 は 16 年間の 64 番目の序列をコード化します。これは、820 週目から 832 週目をコード化することを意味します。明日は 13 番目の新しい調波に入ります。対応する二相コドンは 48 です。従って、このセミナー全体で、48 が非常に大きな意味を持つものと言うことができます。

これは 7 つのポジションまたは季節の動きのパターンの一例です。この作業を開始し、順序が非常に重要であることを認識しながら、ヘプタッドを追いかけ始めると、より多くの人々が同時に同じことを行っていて、ある程度シンクロしようとしていることに気づいてきます。

そのうちに「今日は 144 と 91 です」と言うようになります。これにより、いくつかの基準点が得られます。残りのシンクロコードを調べていけば、これらの数字が再び見つかるかもしれません。

例えば、その日の周波数コードを読み取ることができます（その出し方とフォローの方法はここで学びます）。これらの周波数は、13 の月の暦とその日の BMU に基づいています。「スペース・マトリックス」で、その日のキン番号を配置する座標があります。例えば、今日は 48 です。そこから周波数が導かれます。シンクロニック・マトリックスには、今日のキンに対応する別の座標があり、そこから別の周波数が導かれます。そこから「マスター調整周波数（MCF）」と呼ばれるものが導き出されます。例えば、今日の MCF（訳注：正確には MCF のテレパシー周波数インデックス TFI）は 681 です。

BMU を見つけるには、441 を引くと（681 が 441 より大きいため）、 $681 - 441 = 240$ になります。

すると、その数字のキン相当も分かります。これを行うには、MCF（訳注：TFI）の 260 に最も近い倍数を引き（訳注：260 以下に落とし込んで）、その日のキン相当を見つけます。今日は何なのか見てみましょう……あああああ！！キン 161 相当です。そんな感じで遊びます。そして、これらすべてを毎日行くと、これらすべてを「プレイ」すると、ピンとくる内部周波数が多数あることに気づきます。ピンとくる周波数

を認識することで、自分が正しい道にあることが分かります。あなたが実際には高等知性体のプラットフォームであるシンクロシティの波に乗り、銀河意識に真に加わっているということです。

これは言葉では言い表せないような種類の経験であり、実際に銀河マインドに到達していると知る前に、何度か経験しなければならないような経験です。これにはある程度の忍耐力が必要です。ポケット電卓があると便利です。それは常に問題をシンプルにするからです。例えば、私はフナブ・ク21を使ったオラクルのプロセスのあと、毎日のキンの周波数として説明したプロセスに入っていきます。

これを始めると30分も40分も続けることができます。これを行うと、自分がより大きな何かに「食食」されていると言えるほどの経験を本当にし始めることが分かります。そして、あなたは通常の日常の意識とはほとんど関係のないコミュニケーション状態としての宇宙意識に入ります。

私はこれを3年ほど試し、理解と実験にずっと時間をかけてきましたから、今のあなたがたのような他の人たちにこれが何なのかを伝えることができるようになりました。

それが集団的に伝わり、理解され、人々が低次の意識は集団的な銀河の意識に服従しなければならないことを進んで理解すると、そのプロセスははるかに簡単に起こるようになります。

私たちはこれらすべてを促進するために銀河間通信を作成します。そして私たち全員がこれを経験し始めることができるようになるでしょう。この経験を通して、私たちは意識の集合的統合のレベルに到達し始めるでしょう。

これは私たちがCRESTセンターで計画していることと類似しています。私たちは現在、さまざまな平和プロジェクトや平和ガーデン、あるいは私たちが今いる場所のように開発中の土地を数多く持っています。

明日は午後6時からCREST会議があります。このプロセスでは、これらのCRESTプロジェクトの創出が重要です。私たちは、この目的のために特別に設計されたエリアでこれらのテレパシー瞑想を開発することができます。私たちはどこにいても、ヘプタッドの7つのゲートを開くことから始めることができます。

このプロセスでは、すべてが理解されていることを確認するために、できるだけゆっくり歩くことが重要です。私たちがこの7日間のために用意したこの学習ガイドは、セミナー後に継続するための優れた学習ガイドでもあります。ヘプタッド全体にわたって従う、このモデルと論理用語には一定の要点があります。

私たちはこれらすべての要点を完全に取り上げることはできませんが、少なくともこれらのセッションの後、それらのカテゴリーの思想の意味を広く説明するつもりです。

ページの下部には、「1の法則」、「2の法則」、「3の法則」などについてのノートがあります。これらについても各自で勉強してください。

今日はこれで終わりです。家族を大切にし、心を一つにして障害を乗り越えてください。

ありがとう。

3日目終わり